

ささえあい

Vol.22
2016

病院の理念 「患者本位の医療」

基本方針

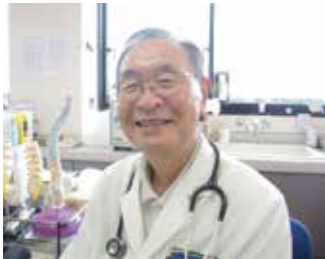
1. 患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
2. 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
3. 急性期病院として、関係機関と連携し、地域医療の充実に努めます。
4. 地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
5. 臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
6. 地域医療支援病院として、地域の医療人の教育研修の充実強化に努めます。

公立藤岡総合病院登録医のご紹介

医療法人祥淳会 野中医院

病院の特徴

当院は、泌尿器科・内科・外科・整形外科・皮膚科を標榜し、地域の「かかりつけ医」として、泌尿器科を中心とした一般外来診療を行っています。また、在宅医療・往診・施設の訪問診療・産業医・学校医等の業務を行っています。



野中医院 小屋 淳 院長

院長挨拶

日頃より公立藤岡総合病院には、当院の地域医療連携にご協力頂き、誠にありがとうございます。ご挨拶。

当院は義父が、昭和28年3月に「野中外科病院」として開設いたしました。その後、平成4年6月より建物を新築し、名称を「野中医院」と改め、私が継承いたしました。平成21年4月より娘の智子が診療に加わり、患者様のための医療を目指し、2人体制で診療にあたっています。

今後も地域医療発展の一助となれるよう努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●		
14:30~18:00	●	●	●	●	●			

※休診日：日・祝日 診療時間・休診日は診療科目によって異なることや変更になっている場合があります。事前に必ず医院に直接ご確認ください。



INFORMATION

公立藤岡総合病院
市民公開講座
頭痛について

12月3日(土)
 18時30分~(18時開場)

副院長 甲賀英明先生
 (脳神経外科)

公立藤岡総合病院3階
 第一会議室

入場無料(80名)

1 頭痛について
副院長 甲賀英明

2 新病院の紹介
病院長 石崎政利

3 医療相談コーナー
もあります

下記にお申し込みください！
 藤岡総合病院 研修管理センター
 TEL:0274-22-3311

※お車でのご来校の方は、第2駐車場をご利用ください！
 (長瀬橋「ファミリーレストラン」ガストの入口)



栄養室考案

秋の食材「長芋」

《栄養》
 主な成分はでんぷんで、カリウム、ビタミンB1、食物繊維など含まれます。でんぷんの消化を助ける酵素アミラーゼが豊富で生で食べると、血糖値の上昇も緩やかです。粘り成分の「ムチン」は胃の粘膜を保護する働きがあるとされています。皮に張りがあり、ひげ根やひげ根のあとが多いもの、切り口が円形のみずみずしいもの、なるべくまっすぐなもののが良品です。

長芋のバター磯部焼き

バターと焼き海苔の風味がこんがり焼いた長芋にぴったり。旬の食材をトッピングして、バリエーションが楽しめます。

1人分
 90kcal
 食塩相当量0.5g

《材 料》2人分
 長芋 …………… 9cm(150g) バター …………… 10g
 貝割れ・エリンギ … 適量 焼き海苔・全型 …… 1/2枚
 しょうゆ …………… 小さじ1

《作り方》
 1. 長芋は皮付きのまま手で持ち、コンロの直火にかざす。まわしながらひげ根をちりちりと焼き、さっと洗って厚さ1.5cmの輪切りにする。
 2. 貝割れは根を切り洗って水気を切っておく。エリンギは縦に薄く切っておく。
 3. 焼き海苔は長さ6等分に切る。
 4. フライパンにバターを中火で熱し、長芋を並べて両面を3分ずつ焼く。エリンギも軽く炒める。
 5. 焼いた長芋に貝割れ・エリンギをのせ焼き海苔で巻いて器に盛り、しょうゆをかける。



特集

救急医療

災害拠点病院について

副院長兼安全管理センター長

設楽 芳範



1985年8月の日航機墜落事故や2011年3月の東日本大震災、2012年4月の関越道高速バス事故など、県内外で大きな災害が発生しております。当院は1997年に災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定を受け、災害発生時には24時間緊急対応し被災地から多数の傷病者の受け入れと搬送を行い、さらに地域の医療機関への支援を行います。災害拠点病院には施設や設備について指定要件があり、水や電気などのライフラインの確保、多くの傷病者に対応できるスペースや簡易ベッドの準備、食料・飲料水・医薬品などの備蓄、衛星電話の保有、広域災害・救急医療情報システムへの情報入力、緊急車両の保有などの体制を整えておく必要があります。2011年11月には日本DMAT隊員養成研修を受けDMAT指定医療機関に認定されています。

また、災害発生に備え訓練を定期的に行っており、今年5月14日に大規模地震を想定した災害訓練を行いました。多野藤岡広域消防本部、藤岡保健福祉事務所の方々に協力いただき、

病院職員、ボランティアなど約120人が参加し、多くの傷病者の救出・治療・搬送の優先順位を決めるトリアージの訓練などを行いました。

現在建設中の新病院には免震装置が設置され耐震構造の高い建物となります。また、隣接地にヘリポートを整備しドクターヘリや防災ヘリによる重症患者の迅速な受け入れや搬送が可能となる予定です。



5月14日に行った災害訓練風景

救急科について

救急科医長 神戸 将彦

日本救急医学救急科専門医／
日本呼吸器学会専門医／
日本内科学会内科認定医／
ICLS・JMECC WSコースディレクター／
JATEC・JPTECプロバイダー



平成28年4月より救急科を新設しました。

今回は特集として、救急科専門医である神戸医師より「救急科」について説明します。

教えて
ドクター
Q & A

Q 救急科って何ですか？

A 「救急科」と聞いて、何が専門なのか疑問に思われる方もいらっしゃるかと思います。多くの方は、心肺停止や多発外傷症例等の重症患者さんに対する救命処置と応急処置の専門科と思っいらっしゃるかもしれませんが、確かにその様な仕事も我々の重要な任務ですが、救急科専門医は「初療」のスペシャリストです。

その他、災害医療や各地域のメディカルコントロール（救急隊や救急救命士の医療行為や応急処置、搬送手順等を管理する事）に関しても中心的な役割を担っています。

Q 初療って何ですか？

A 「初療」とは「どの患者さん」の「どの検査」と「どの治療」を「どの順番」で実施すべきかを速やか判断し、それを「迅速に実行」し、病院内の様々な専門医による診療の必要性の有無を決定する事です。正直、大多数の救急患者さんは、適切な初療がなされなくても大きな差がない事が多いのは事実ですが、ごく一部の患者さんで、初療を間違えなかつた事で救われる命、あるいは初療を誤った事で失われる命があります。各科の医師はその科の「初診」には慣れていても、各症状・病態の「初療」には慣れていない事もあります。そのために救急科専門医がいます。

Q 救急外来を受診する方法は？

A 救急外来受診を御希望される場合には、待ち時間の短縮や専門医師確認のためにも、必ず事前に病院へお問い合わせをお願いします。病状により当直医や担当医師が診療可能か否かを判断させて頂きます。（諸事情により対応困難な場合には別医を御案内／御紹介

Focus 公立藤岡総合病院DMAT(ディーマツト)チームの紹介

DMATとはDisaster Medical Assistance Teamの略で医師・看護師、業務調整員の医療従事者で編成された災害派遣医療チームのことです。大地震や航空機・列車事故の発生後迅速に現場へ向かい、一人でも多くの命を救うための救命医療を行います。

当院では2011年11月に日本DMAT隊員養成研修を受けてDMAT指定医療機関に認定されています。今後もいつ起こるかかわからない災害に備え、DMATとしての様々な救命活動が確実に行えるように訓練へ積極的に参加し、隊員のスキルアップを図っています。



させて頂く事もございます。毎週木曜日には、群馬大学医学部附属病院救命救急センターから非常勤医師1名も診療に当たっています。休日夜間帯の診療は今まで通り内科系医師1名、外科系医師1名、産婦人科医師1名、小児科医師1名（西毛地区輪番日のみ）、臨床研修医または外来センター医師1名の日当直体制です。専門的治療を要する場合は、各科オンコールによる対応となります。

救急外来は、原則的には緊急性のある患者さんを優先的に診療する外来ですので、診察や検査等の順番は通常の外来とは異なり、診療の緊急性の有無に応じて変わる事がります。また必ずしも受付順ではありませんので、診療までにお待ち頂く事もありますので御了承下さい。

緊急性のない症状の場合は、適切な救急医療システムの維持や重症患者さんに対するマンパワー確保のためにも、近医1次医療機関の受診や平日の当院外来センターの各科専門外来の受診を御検討頂ければと思います。

夜間・休日の救急外来では、緊急性の低い患者さんの受診が多いため、本来の目的である重症患者さんへの対応に支障をきたしています。

大切な救急医療体制を守り、地域の皆さまに安全で質の高い医療を提供するために、緊急性の低い患者さんの受診には、通常の診療費とは別に時間外特別料金（3,780円）を徴収させていただきます。徴収対象期間は平日の18時から翌日8時、土曜日・日曜日・祝日・年末年始の終日となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

是非、当院のホームページの「救急の御案内」、「救急センターの御案内」のページも御参照頂ければ幸いです。